

科目名	情報セキュリティ	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	桑原 悟		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-B-3-420010	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>情報セキュリティは、IT社会を支える重要なものであることには疑問を挟む余地はありません。この授業では、組織にとって情報セキュリティが必要な背景、情報セキュリティの実現に利用されている個々の要素技術、その技術を具現化した製品の適用と利用技術及び、組織経営にとっての情報セキュリティの位置付けについて学びます。この授業は、情報文化学部のディプロマポリシーのうちの、『情報技術の利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること』を実現するための授業の一環です。</p>				
学修到達目標	<p>情報セキュリティが必要な背景、個々の要素技術、製品、利用技術及び、組織にとっての情報セキュリティの位置付けについて理解できる。</p>				
実務経験との関連性	<p>三菱電機株式会社において社内情報セキュリティを担当し、KPMGビジネスアシュアランス株式会社において顧客対応の情報システムコンサルティングを行った経験に基づく授業を行っている。</p>				

授業計画	
第1回	授業ガイダンス、アンケート、情報セキュリティとはなにか
第2回	ネットワークとビジネス（情報セキュリティの必要性）
第3回	組織の置かれた状況

第4回	情報セキュリティポリシー
第5回	リスクマネジメント1 (リスク分析)
第6回	リスクマネジメント2 (リスク対応)
第7回	セキュリティ対策 (1) ・ファイアーウォール
第8回	セキュリティ対策 (2) ・IDS (侵入検知システム)
第9回	セキュリティ対策 (3) ・コンピュータウイルス ・サーバのセキュリティ設定 ・認証 ・パスワード ・脆弱性検査
第10回	セキュリティ対策 (4) ・暗号化とその応用及び認証 1
第11回	セキュリティ対策 (5) ・暗号化とその応用及び認証 2
第12回	セキュリティ対策 (6) ・ぜい弱性検査 ・負荷分散と冗長化 ・コンティンジェンシープラン ・情報セキュリティ監査
第13回	PKI (公開鍵基盤技術)

第14回	情報セキュリティ関連の最新の動向
第15回	まとめ
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間 事前配布資料による予習
【復習】時間・内容	2時間 授業ノート及び、授業中小問（正解）による復習

成績評価	
評価基準・方法	成績評価は、定期試験100%とする。
フィードバック方法	定期試験の成績分布を授業アンケートの講評の中に示して、フィードバックを行う。 各回の授業中に小問を課し、これの答え合わせをすることで、フィードバックをする。（小問は、成績には関係しない。）

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	<p>新技術の登場が盛んな分野であるので、教科書は、事前配布資料とする。 参考書は、適当なものがあれば、授業開始前にポータルサイトに掲載する。</p>
受講上の留意点等	<p>注) 受講者の理解度により、順番及び内容を調整することがあります。 受講に前提条件はありませんが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークコンピューティングの授業内容を理解していることが望ましい。 ・数学1、数学2、テレコミュニケーション、組織と経営の単位を取得していることが望ましい。 ・基礎自由科目「数学基礎」の履修を指導された者は、これを履修していることが望ましい。 <p>授業に集中している学生、教員の邪魔になる行為をするものは退出させます（出席を認めない）。 質問は歓迎するので、遠慮なく質問してください。</p>
JABEE	